

今回も「ミニレター」としてお届けします！

## 令和2年度新規ボランティア研修はじまりました！

2月13日（土）より令和2年度の新規ボランティア研修がはじまりました。今年は新型コロナウイルスが流行していることもあり、申し込みはないのでは…と心配しておりましたが、2名の方が受講してくださいました。また、再度研修したいという方も2名おり、計4名での研修となりました。

例年と比べると人数は少ないですが、その分じっくり学ぶことができると思います。また、研修を通じて各自みなとぴあの楽しみ方を発見してもらえれば幸いです。今後の活躍が楽しみです。



説明会の様子

## 令和2年度ボランティア活動振り返り

今年度は、新型コロナウイルスの流行があり、ほとんどの行事が中止となった異例の年でした。みなさんが楽しみにしていたボランティアフェスティバルや歴史探訪なども中止となり、加えてガイドの活動も予約団体のみ対応するかたちにして、当日ガイドは今も中止しています。

このような制限があるなかで、8月4日にはあるボランティアさんの提案で西蒲区角田浜の古墳見学会が行われました。急な呼びかけにもかかわらず、10名弱のみなさんが参加してくださいさり、小林副館長の説明を熱心に聞き、古墳についての学びを深めていました。

たいけんプログラムについては、密ができないよう

にサポート人数を制限しながら行っていますが、職員が想像していたよりも多くのボランティアさんにサポートをしていただきました。また、よろい工房やからくりおもちゃづくりといった自主的な活動にも熱心に取り組んでいらしかったことが印象的でした。活動の中で製作された作品はどれも目を見張るものばかりです。興味がある方は是非、見学してみてください。

未だ大変な状況は続きますが、来年度はウイルスの流行が終息し、今年度より多くの活動ができればよいなと思っています。来年度もよろしくお願いいたします。



角田浜古墳見学会

## みなとびあボランティアの声

今回は、今年度よりみなとびあボランティアとして活躍されている小松原秀平さんの感想をお届けします。

新人ボランティアガイドの小松原と申します。よろしくお願い致します。  
この度1年間の感想を書くと、ボスの鈴木さんから依頼を受け、気弱で小心者の小生は引き受けてしまいました。

さて、10年ほど前に、従妹より先祖の歴史(450年位)をまとめたので、力を貸して欲しいとの依頼を受け、一昨年の暮れのどん詰まりに、ようやく本冊と資料編の2冊を、本にすることができました。

家に残された資料は火災などでほとんど残っておらず、言い伝えの巻物2巻と小さな木像2体そして自作の俳句数点のみ。しかし、先祖の残したものがあちこちで散見され、それらを入れると結構なボリュームになりました。(お寺や他家にあるものなど、いろんな壁がはだかり、ほとんど使うことができませんでしたが…)

その中で糸口が見つかったものは、少し調べることができました。そこでようやく歴史の教科書のようなものから、ドラマへと近づくことができました。

ボランティアガイドの動機は、現在10ほどのサークル(県石仏の会、外国人の日本語教師、傾聴ボランティア(ガンセンター緩和病棟で活動:コロナで休止中)、健栄会、気功、読書、習字、等々)に所属しておりますが、県からの委託の仕事が終了したことと、前記の調べ物から興味を持ったということでした。

研修会は、コロナで中断。お陰様でその間に自分なりの資料を作ることができました。また先輩諸氏から良いアドバイスをいっぱい受けました。

今年度ガイドは8回やらせて頂きましたが、前日には毎回2時間以上予習を行っております。また調べていくと知り合いのご先祖様に会ったり、事柄のドラマを見ることができたり、私にとっての発見が多くあります。

ガイドでは、距離感が近すぎる小学生や、関心があまりなかったような方から思いもよらぬ御礼の言葉に、戸惑っております。

最後になりましたが、ほぼ同年代で別の人生を歩んでこられました方々と、お話しできますことは喜びです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



### 【編集後記】

今年度最後のボランティアレターも内容が少なくなってしまう、申し訳ありません。来年度は活動ができるようになり、皆さんの活躍をたくさん記すことができたらよいなと思っています。さて、先日今年度最後の定例会を開催しました。その際、意見として「来年度はコロナの中でも対策を講じながら様々な活動をやっていきたい」という声があがっていました。感染拡大により活動が制限される中、ボランティアさんのモチベーションが下がっているのではないかと心配していましたが、このような声があり嬉しく思いました。もちろん、未だコロナが流行していますので、無理をせずご自身のペースで活動していただければ幸いです。(鈴木)

2020.7 現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港150周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこう!という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体みなさんからご協賛をいただいています。

